



北 中 だ よ り

学校教育目標「自ら考え なかまと磨き合う 北中」

菊池北中学校
学校だより
No10
文責 芹川博文
6月14日(金)

「体育館に響く音も全部に鳥肌がたって」「初めて歌で涙を流しました」 ～ 「本物」に触れた体験 東京なないろアンサンブル様の演奏から ～



【お礼の手紙から一部抜粋】

- ・涙ぼろぼろでした。あんなに歌に感情をこめられるの?!ってくらいです。自分のことと重ねてみてすごく泣きました。とても深みのある曲でした。ありがとうございました。(1年生徒)
- ・心から感動して、今悩んでいることなどが全部忘れるくらい音色も皆さんの姿もとても美しいなと初めての感情で自分も驚きました。音楽の道に進んでみたいなと初めて思いました。(1年生徒)
- ・初めて歌で涙を流しました。家に帰って家族に「こんなにすごい人が来たんだよ」と自慢したくなりました。(1年生徒)
- ・生で聞いたことがなくて、迫力がすごくて体育館に響く音も全部に鳥肌が立って、思い出に残る貴重な体験でした。雨宮さんの歌声を聞いて普通の人じゃあまり出せない声ってやっぱりすごいなと思いました。(2年生徒)
- ・正直なぜ音楽を勉強しないといけないのか分からなかったけど、心を豊かにするために音楽の勉強をすることが分かりました。(2年生徒)
- ・聞いている人を感動させるお仕事って、とてもかっこいいと思います。私も人を笑顔にしたり、感動を与えられるような仕事につきたいなと改めて思いました。(2年生徒)
- ・こんな近くで生演奏が聴けてすごく光栄です。私はとてもクラシックが好きで、一番最初に演奏してくださったモーツァルトのアイネクライネがとても印象に残っています。(3年生徒)
- ・一つ一つの楽器の音色が重なって、それぞれのパートの良さがすごく綺麗でした。初めて生で演奏を聞いたけれど、テレビなどで見るより何倍も迫力があって素晴らしかったです。(3年生徒)
- ・「楽器」っていいなあと思いました。楽器を弾いている姿や歌っていた姿が私の目にとっても印象に残りました。とてもかっこよかったです。曲にのみ込まれてしまいました。(3年生徒)

6月7日(金)、東京なないろアンサンブルの6名の演奏者(ヴァイオリン:矢野様、藤枝様、ヴィオラ:加藤様、チェロ:石垣様、ピアノ:菊川様、歌:雨宮さま)による演奏を聴く機会を得ました。文化庁派遣事業公演で、プロの演奏者を間近で体験した生徒たち。「本物」に触れたこの体験が、一生の宝物になった生徒もいることでしょう。ちなみに、北中の体育館は音響が抜群とのことでした。

「ちょっと行ってきます」 自ら考え 行動する姿 ～ 散乱したゴミを片付けた3年生徒の朝の姿から ～

6月7日(金)の朝、「ちょっと行ってきます」と、3年生の馬淵星空さん、阪田流煌さんの二人が裏門に向かって駆け足で走ってきます。学校近くの道路にゴミが散乱していたとのこと。「軍手やトンクは?」と聞くと、「要りません」「よかったら校長先生も」と駆け抜けていきます。思わず私も後を追いました。「現場」は、朝のゴミ出しの袋をカラス?がまき散らしたようで、すでに近所の方もおられ、パトカーも到着したところでした。そこを「失礼します」と入っていき、素早く片付け、「失礼しました」と、やはり駆け足で戻って行きました。

「初めてなの」と、話を聞くと、「2回目です。昨年の冬、近所に散った学校の落ち葉を片付けに行きました。その時は先生に言われて行きましたが、今日は自分たちで考えてやりました」とのこと。

朝の貴重な時間にもかかわらず、地域のために行動した彼らの姿が眩しく、爽やかな感動が広がった朝となりました。

